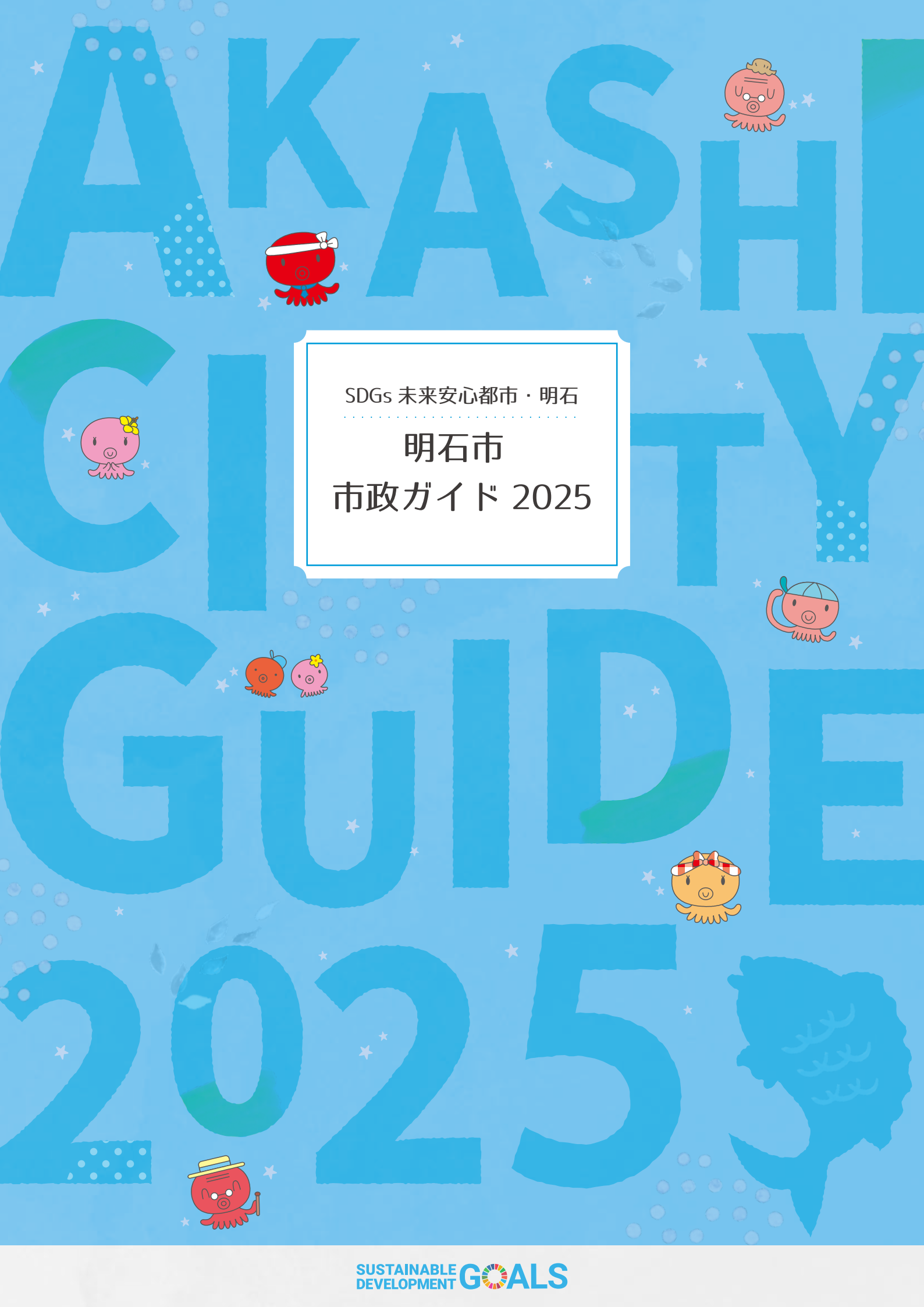




SDGs 未来安心都市・明石

明石市
市政ガイド 2025

市民の笑顔があふれる明石市に

コ・クリエーション

対話と共創でつくる

みんなで一緒にまちをつくる

タウンミーティング

市民との対話の場を開催

障害・子育て・高齢者・若者・環境・にぎわいなどさまざまなテーマで開催しています。

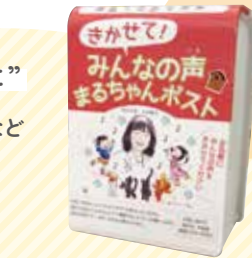
ファシリテーターの育成

市民と市職員も一緒に

対話で互いの思いや意見を受け止め、引き出し広げる手法について学びます。

みんなで対話中

“私たちにできること”
“行政や地域と一緒にできること” など



市長へのおてがみ
まるちゃんポスト

おてがみは市長がすべて目を通し、市民目線の「やさしいまちづくり」につなげています。



記念撮影パネルを設置

まちづくりや市政の課題を

ワークショップなどで合意形成へ

市民、事業者、行政などあらゆる関係者と対話を重ね、今後のまちづくりを話し合います。



財政白書の作成

新庁舎整備

明石の緑を考える

ごみ減量

明石の農業を考える

本のまちビジョン

本とつながる

本からつながる

ぶんぱくのこれから



新しいクリーンセンター

西明石・大久保のまちづくり

... など

市民の笑顔があふれるまちに

明石市は対話と共創でまちづくりを進めています。毎月開催しているタウンミーティングやワークショップでさまざまな市民のみなさんと対話を重ね、明らかになったニーズや地域課題に産官学民の共創で取り組んでいます。

多様な市民ひとりひとりの声に寄り添い、よりきめ細やかに取り組むことで、明石市はもっとやさしいまちになります。これからも市民のみなさんとともに、みんなの笑顔があふれるまちづくりを進めていきます。

明石市長 丸谷 聡子



もっと！

やさしいまち明石

市は、「SDGs未来安心都市・明石」を目標に掲げ、さまざまな立場の人と対話を通して新たな価値を共に創る「共創」によるまちづくりを進めています。

「産・官・学・民」連携して 共に地域課題を解決へ

さまざまな知見を持った企業や教育機関等と行政が連携して、地域課題の解決のために取り組みを進めています。



プラスチックの再資源化を目指し
ハブラシリサイクルをスタート

神戸市と



神戸市と生物多様性を守り育てるための協定を締結。フォーラムや自然体験会を共同で開催

民間事業者と



ペットボトルの水平リサイクルに関する協定 締結式
ペットボトルの水平リサイクルに向け
市と飲料メーカーが協定を締結

兵庫県立大学と

NEW
メンタルヘルスの相談先を周知・PR するための Web アプリを共創で準備中。
(2025 年春に公開予定)



地域の発展と人材の育成に寄与することを目的とし、兵庫県立大学と包括連携協定を締結

民間提案制度

民間事業者から新たなアイデアやノウハウを活かした提案をいただき、市と対話・議論しながら事業化を目指しています。



脱炭素・ごみ減量など

2024 年度
提案採用 24 事業
(うち条件付 17 事業)

NEW

電力調達の専門事業者からの提案で電気料金を見直します。
年間 3600 万円の削減効果に。



市民の声から実現しました



プレーパークが誕生

大蔵海岸公園、明石公園など 4 か所で開催し、約 3500 人が参加しました。



またプレーパークで遊びたいな！

夏場の無料休憩所

ひと涼みスポットが誕生



地域や企業と共創で
市内 55 か所に設置。



あかしリサイクルBOX
Taco箱が誕生

古紙回収専用のリサイクルBOXを常設。紙ごみの再資源化を進めます。



明石市長
まるちゃんねる



市の取り組みをはじめ、さまざまなトピックスを丸谷市長が紹介する「明石市長まるちゃんねる」を配信中！

こどもを核としたまちづくり

全て所得制限はありません！

明石独自の
5つの
無料化

経済的負担が軽減し、安心して子育てができます

所得制限を設けずにすべての子どもたちを対象にサービスを提供しています。

1 医療費 高校3年生まで無料

病院代・薬代も無料です！



3 おむつを 無料でお届け

選べる赤ちゃん用品

見守りで不安解消



選べます /
3000円相当の
子育て用品

計10回 /
3か月～1歳
の毎月

4 中学校給食が 無償に

心のこもった
温かい給食



2 保育料 第2子以降は無料

きょうだいの年齢、関係なし

市外の施設でもOK



5 公共施設の 入場料を無料に



- * 天文科学館
- * 文化博物館
- * 明石海浜プール
- * 親子交流スペース「ハレハレ」

天気も
気にせずに
遊べます！

すべての子どもたちを みんなで支えます

学校でも家でもない /

こども第三の居場所

2025年1月
OPEN

さまざまな理由で学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる居場所です。一人ひとりの子どもに応じた学習や体験を通じて成長を見守ります。



フリーコーナーは子ども・若者が誰でも自由に使えます

小・中学校に / 校内フリースペース

多様な学びを応援 /

フリースクール 利用者へ助成

フリースクールの利用料を一部助成しています。



職員を配置し、学習や生活面をサポートします。

保健師・看護師に相談 /

医療的ケア児等相談窓口

2024年10月
OPEN

医療的なケア（人工呼吸器の管理、たんの吸引など）を必要とする子どもたちや家族が安心して暮らせるように相談支援をしています。



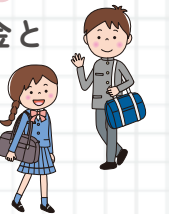
こども夢応援プロジェクト

高校進学に向けた給付型奨学金と 学習・生活支援

入学準備金30万円(上限)

在学時支援金 月1万円(3年間)

※国の児童手当拡充に伴い、令和7年募集から月5千円に子どもたちが家庭環境や経済的な理由などで高校への進学をあきらめることがないよう、奨学金（返済不要）の給付や、高校入試に向けた学習支援・学校生活の相談支援をしています。



地域の気づきの拠点 あかし版こども食堂

地域のあらゆる世代が、気軽に集まり交流することで、支援が必要な子どものサインにいち早く気づき、関係機関へつなぐなど重要な役割を担っています。

子どもの総合支援に つながる気づきの場

歩いて行ける！

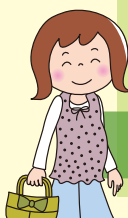
全小学校区で実施、
だから安心

「遊び・学び」
「地域交流の場」も



妊娠・子育て まるごと寄り添い支援

支援が必要な子どもを早期に発見し、必要な支援につなげるため、妊娠期から小学生までのステージでさまざまな気づき・寄り添いの機会を設けています。



妊 娠

妊婦全員と面談
タクシー券
5000円分プレゼント

出 産

産後ケア
宿泊型、デイサービス型、訪問型で心と体をケア。訪問型は初回無料

乳 幼 児

子育てスタート応援事業
家事・育児ヘルパーサービスの2時間無料利用券

子育て訪問相談
支援が必要な場合には看護師や保育士などが家庭を訪問

小 学 生

切れ目のない
支援が重要



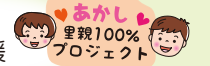
出産・育児のサポート

すべての妊婦と
赤ちゃんに会います

子育て家庭ショートステイ

病気や育児疲れの時、里親や児童福祉施設等で短期間子どもをお預かり

ショートステイ里親から
つながる地域の子育て支援



ぼくたち生まれる前から
見守られているんだね



子どもの見守り

1か月児や5歳児の健康診査も

新生児の家庭訪問
生後3か月までにすべての
子どもの家庭を訪問

ブックスタート
4か月児健診時、
絵本をプレゼント

ブックセカンド
3歳6か月児健診時、
絵本をプレゼント

あかし版こども食堂
子どもたちの身近な場所で開設



気になることがあれば
市と連携して対応

面 談 → 気 づ き → 支 援



おむつ定期便
子育て経験のある見守り支援員が
毎月子育て用品をお届け

受診・面談の
きっかけに

子ども一人ひとりに寄り添います

養育費も親子交流も子どもの権利

養育費

1. 取決め

養育費・親子交流などの取決めに関する合意書のひな形や手引きを、相談時や離婚届の配布時にあわせてお渡ししています。

- 参考書式の配布
父母間の話し合いの参考に
- 公費による補助も
公正証書作成費用や調停申立費用を補助。

2. 立替え

不払いになった養育費を直接市が催促し、不払いが続く場合に市が立て替える事業を行っています（最大3か月・上限月額5万円）。

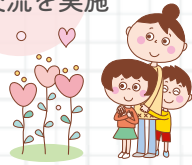
3. 差押え

不払いの養育費について裁判所で強制執行手続をする場合に、相談や申立費用補助を行っています。

親子交流

「取り決めをしたものの、直接連絡してもうまくいかない」というケースについて、子どもと両親の合意に基づき、日程調整や当日の立ち会いのほか、交流場所の提供もしています。

累計約600回の親子交流を実施



児童相談所（明石こどもセンター）



どんなときも こどもファースト
多職種チームで支援します

安全・安心の拠点
こどもの気持ちを大切にした支援に取り組みます

支援が必要な子どもの早期発見、早期対応により、子どもの安全を確保するとともに、子育て家庭への養育相談から地域における育ちの支援まで、関係機関と連携しながら子どもの幸せを目指して全力で支援しています。

すべての子どもに家庭のぬくもりを あかし里親100%プロジェクト

すべての子どもが家庭と同様の環境で安心して暮らせるよう、里親家庭を身近に増やし、支援する取り組みを進めています。



里親相談会（予約不要） 市内の里親さん
毎月開催しています 36家庭（2019年4月1日） 79家庭に（2025年2月6日）

あかし里親センター 里親に関するあらゆる相談ができます
里親支援 諸手続きの同行や経済的なサポートなど

専門性を生かして活躍し、やりがいをもって働きたい

福祉職場で働いてからも 市がサポートします

25の福祉関連資格の取得を応援！

市内の福祉施設で働くこと…

研修や国家試験などの受講費用を助成します。

助成額 法人で申請…4分の3
個人で申請…2分の1
※上限6万円

介護職員初任者研修は **全額補助**
※上限10万円



NEW

市立明石商業高等学校に 福祉科を開設

未来につなぐ福祉を支える人材を育成



地域と連携し福祉を学ぶ



医療的ケアの
実技練習を行える
介護実習室

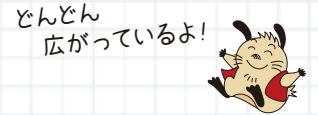


誰もが暮らしやすいまちに

障害者

すべての人にやさしいまちづくり

障害のある人もない人も、安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、事業者や地域の団体と一緒に取り組みを進めています。



条例1

「手話言語・障害者 コミュニケーション条例」制定

2015年4月施行

手話を言語として認め、点字や音訳なども含め障害のある人となない人の幅広いコミュニケーション手段の促進について定めた条例を全国で初めて制定しました。

手話 要約筆記 点字 音訳 その他の支援

あかし手話チャンネル

市政情報を手話で紹介。毎月2回、広報あかしの内容などを配信しています。



手話チャンネルは
こちらから



ろう者の職員が手話で情報発信

幅広いコミュニケーションを支援



手話

市立小学校の4年生を対象に、耳の聞こえない人の生活や手話を学ぶ「手話体験教室」を実施しています。



点字

点字メニューを置いているお店も増えてきました。



指さしでお店でのやり取りを簡単に

カードにお店でのやり取りがイラストや文字で書いてあり、指さして会話をサポートします。



書き込みもできます



スマホでも

条例2

障害者配慮条例

合理的配慮の提供を支援する
公的助成制度スタート 2016年4月施行

事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成しています。

- 対象／事業者や地域の団体など
助成内容／
- ①点字メニュー・コミュニケーションボードなどの作成（上限5万円）
 - ②折りたたみ式スロープ・筆談ボードなどの購入（上限15万円）
 - ③手すり設置・段差解消などの工事（上限30万円）

条例3

あかしインクルーシブ条例

2022年4月施行

補助制度を創設

ホテルや商店街などのバリアフリー化に向けた費用を補助



あかしインクルーシブ条例パンフレットはこちらから



400を超えるお店や施設に 設置しています！

外国人や障害のある人にも利用しやすい店づくりをしています。



車イスやベビーカーも
入りやすい！



年齢・性別・障害・国籍などに関わらず、すべての人が安心して自分らしく生きられるインクルーシブなまちづくりを実現するために、今後の指針となる条例を制定しました。

インクルーシブアドバイザー制度

お店や施設などのバリアフリーについて、障害のある人や高齢者などがアドバイザーとして一緒に考えます。



認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症になっても、安心して暮らし続けることができるよう、「本人の尊厳の確保」「家族負担の軽減」「地域の理解の促進」を3つの柱に、認知症の人と家族を支援するさまざまな取り組みを進めています。

認知症の人と家族の支援

早期に気付く

1. 認知症診断費用を全額無料に

認知症（若年性も含む）診断費用を全額助成します。また、認知症と診断されたらタクシー券（6000円分）またはGPSの基本料金1年間無料のサービスも。

支援につなぐ

2. サポート給付金の支給

認知症と診断を受け、在宅で生活している人にサポート給付金として2万円を支給します。

継続的に支援

3. 認知症手帳の発行 （あかしオレンジ手帳）

支援サービスの紹介や相談窓口を掲載した手帳を発行します。

一冊に必要な
情報と記録を



明石市独自

オレンジサポーター制度 （認知症サポーター）

地域で支える

認知症と認知症の人を正しく理解し、地域や職場で応援。より専門的に学び地域活動を行うシルバー・ゴールドサポーターも。

オレンジピアサポーター （認知症の人が活動）

認知症の人がつながり、支え合い、当事者自身がより生き生きと暮らすための活動を応援します。



詳しくは
こちらから



オレンジリングレンジャー
（小学生発案!）

補聴器の購入費用の助成

聴力が低下し、生活に支障が生じている高齢者に補聴器の購入費用の一部を助成します。

対象／医師が必要と認めた65歳以上の人
（所得制限なし）

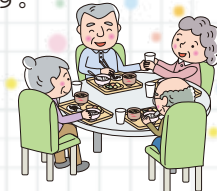
助成額／上限2万円



食を通じた見守りを/ 「みんなの給食」全中学校区で

月1回程度開催し、食事のほか口の健康に関する体操なども行います。運営は地元のボランティア団体などが有償で行っています。

みんなに会うのが
楽しみです



フレイル予防

ふれあいの里を拠点にフレイルサポーターの養成やフレイルチェック会を開催中。



市民との共創で
取り組みが
広がっています!



NEW

マンガとコラムでよくわかるお財布事情

みんなの財政白書あかし



表紙イメージ（素案から）

何にどれくらいお金を
使っているの？

将来の負担は
大丈夫？



みんなの
財政白書あかしは
こちらから



さまざまな立場の人と対話を重ねてきました

本のまち明石

公立図書館や文化施設、学校図書館、こども夢文庫、私設のブックスポット、書店など本に関わるすべての人と一緒に共創で本のまちづくりを進めていきます。

本とつながる

いつでも、どこでも、だれでも、
手を伸ばせば本に届くまち

本からつながる

本から人とつながり、
知りたいことや
やりたいことに会えるまち

「本のまち明石」の具体的な
方向性を示す本のまちビジョンの
策定も進めています。



地域に身近な図書館・まちのパブリックスペース リビング＆ライブラリー

市内3館目として
新しくオープン

二見図書館

地域の居場所、交流の場所も兼ねた
地域に身近な図書館へ

ふたみん



イトーヨーカドー明石店内に4月に開館

LGBTQ+/SOGIE

（性的少数者）

（性のあり方）

ありのままだがあたりまえのまちへ

パートナーシップ・ファミリーシップ制度

LGBTQ+などのカップルを、生活を共にするパートナーとして自治体が認定する「パートナーシップ制度」が全国に広がっています。

＜明石市の制度の特徴＞

- LGBTQ+に限らず
男女の事実婚カップルも利用可
- 親や子などの近親者も届出できる



LGBTQ+の支援や性の多様性の理解促進を担当する専門職員を採用。パートナーシップ制度の運用や専門相談などの支援に取り組んでいます。



明石にじいろ階段（明石駅南）

持続可能な社会に向けて 地球と自然にもやさしいまちへ

「SDGs未来安心都市・明石」を掲げる明石市は、持続可能な環境を次世代に引き継ぐために、地域や企業等と連携しながらパートナーシップによる取り組みを進めています。

豊かな生態系を守り育てる

ネイチャーポジティブの実現に向けて

2023年9月
神戸市と「生物多様性を守り育てるための
連携・協力に関する協定」を締結

在来の生態系に悪影響を与える
特定外来生物の対策

生物多様性に係る
環境教育および人材育成

里山・里地・里海、河川などに生息する
在来種の保全



明石市と神戸市は
複数の河川を共有しています

身近な自然を学ぼう！



市民環境教育
リーダー育成講座も



特定外来生物の対策

生態系に悪影響を及ぼすアカミミガメの防除調査や引き取りを行っています。またクビアカツヤカミキリとナガエツルノゲイトウの対策も行っています。



アカミミガメの防除

在来種の保全

2022年4月

市域に生息する生き物の中で、絶滅の危機にある種について、解説や写真を載せた「明石市レッドリストガイドブック」を作成



ニホンイシガメ

デンジソウ

ネイチャーポジティブって？

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」とは、自然や生物多様性の損失に歯止めをかけ、環境にとってポジティブ（プラスの状態）にしていくという意味です。今の地球は過去 1000 万年間の平均と比べて 10 倍～100 倍もの速度で生物が絶滅していくなど、マイナスの状態にあります。

2022年の
国連の会議（COP15）で
世界目標が示されました



海の豊かさを守り育てる

明石には、タイ・タコ・イカナゴなど豊かな海のめぐみがあります。豊かな海を次世代につないでいくため、魚を育て増やす取り組みを進めています。



稚魚放流



船を使って
肥料散布



海のゆりかご

魚の産卵場・隠れ場・えさ場などになるアマモ場の再生を支援



産卵用の
たこつぼを投入

ゼロ・ウェイストあかし

2023年度～

紙ごみ再資源化プロジェクトをスタート

あかしリサイクルBOX
Taco箱



古紙回収専用の
リサイクルBOXを
市内2か所に設置。

2024年
20.1トン回収

企業の機密文書の
無料回収



機密文書は、溶解処理し、
新たな紙に再利用。

2024年
38.4トン回収

ごみ減量・再資源化を共創で進めています

水平リサイクル

ペットボトルの再資源化

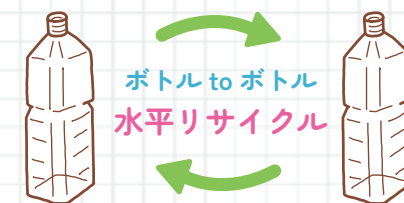


明石市では、アサヒ飲料(株)とコカ・コーラボトラーズジャパン(株)と協力して「ボトル to ボトル」の取り組みを始めています

みんなでチャレンジ!! 2024年4月～

ボトル to ボトル

使用済みのペットボトルを回収・リサイクル処理し、新たなペットボトルとして再生する「ボトル to ボトル」の取り組みが始まっています。



ボトル to ボトル
水平リサイクル



ハブラシリサイクル
プラスチックの再資源化

家庭で使われたハブラシを回収し、リサイクル工場で処理後、プラスチック製品に生まれ変わります。



年間1万本を回収予定

2024年11月～



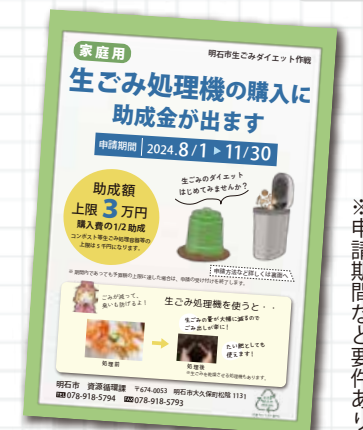
市内12か所に
回収BOXを設置

プラスチックの再資源化を目指し
ハブラシリサイクルをスタート

生ごみ処理機の
購入費の一部を助成

家庭用の生ごみ処理機等の購入費の一部を助成します。

2024年8月～



※申請期間など要件あり

環境と経済の好循環へ

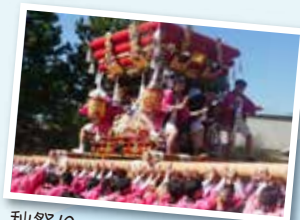
明石のたからもの



明石公園の桜



大蔵海岸の朝日



秋祭り



大久保の田んぼ



石ヶ谷公園の梅



夕焼けパンダ



明石焼(玉子焼)

明石には ええもん がいっぱい!



タコ(マダコ)



タイ(マダイ)



魚の棚商店街



清水のいちご

明石市ってこんなまち

時のまち



プラネタリウム
稼働期間日本一

東経 135 度
子午線

兵庫県

天文学科学館



海のまち



自然豊かな
里海・里地・里山

歴史のまち

明石城(明石公園)



源氏物語の舞台

交通の便がいい

大阪や姫路からも
通勤圏内でベッドタウン



12年連続人口増

